

職員リレーエッセイ

時の流れ

相談支援センターなごみ 相談支援専門員 水野 諒

時の流れは年齢や状況、その人の感じ方によって様々だと思う。私にとっての時の流れは、10代、20代の頃はゆっくりだったが、だんだん速くなって来たと感じている。

10代。学生の頃、私は自分の好きなことに熱中していた。熱中したのはテニスである。きっかけは中学1年生の頃、父が若い時にテニスをしたとの話を聞いたことだ。私もやってみようと思い、地元のテニスクールに通うことにした。その後、中学校に硬式テニス部が出来、部活でも取り組んだ。しかし、中学校時代は、公式戦で1勝も挙げることは出来なかった。高校では、土日も部活の練習があり、テニス漬けの日々を送った。そのおかげか、公式戦でもある程度勝利を挙げる事が出来た。その頃は、好きなことに熱中していたためか、時の流れはゆっくりであった。

20代。大学生活を経て、仕事についた。最初の1年は、特に時の流れはゆっくりだった。仕事に慣れるのが精いっぱいの日々。仕事が終わって自宅に帰ると、食事をして寝るだけという日もあった。しかしそれも1年が過ぎると少しずつ慣れて、日々を楽しむことも出来た。10代に比べれば時の流れは速かったが、今よりはかなりゆっくりだったと思う。

そして現在。20代後半に結婚し、去年の7月の終わりに息子が生まれた。幸せな事ではあるが、仕事と育児で毎日がとても忙しい。介護の仕事をしていたこともあり、おむつ交換やお風呂に入れることも楽しい。息子が寝返りやハイハイ、自分の力で立つといった日々の成長を見ながらあっという間に1年が経った。1歳になった今は、10歩ほどではあるが歩くこともできるようになり目が離せない。これから息子が成長していくにつれて、もっと忙しくなるであろう。時の流れも、今よりもっと速くなると思う。だが、そんな中でも日々息子の成長を楽しみながら、その時々を大切に生活していきたいと感じる今日この頃である。



次は、ニコニコハウス鶴里 生活支援員 豊岡美佳さんに繋がります。